

クルマのミニカー&プラモデルの専門誌

ミニカーの最新情報と
プラモデル制作のお供に!

モデルカーズ6月号 第19巻第6号 平成30年6月1日発行 毎月1回1日発行
自動車模型の専門誌 [モデル・カーズ] 6月号

ホビダス
www.hobidas.com

2018-06

265

model cars



僕らとグループ5の
ファーストコンタクトは
トミカだった



LB★WORKSが
3インチで楽しめる
時代が来た!



定番アイテムを
先にご紹介

The dawn of
Turbo-Wars era

ターボの夜明け

トヨタフォーミュラ創成期を振り返る

4年間で52戦中43勝を挙げた WRCの怪物 POLO R WRC



Report: Fumihira YOSHIDA (吉田史洋) 問い合わせ先: アオシマ文化教材社 (tel.054-263-2595)

VOLKSWAGEN POLO R WRC 2016

1/24スケール ● 価格: ¥5,800 (税別)

フォルクスワーゲン・ポロ R WRCは、2012年12月、華やかなイルミネーションに彩られたカジノ・カジノスクエア(モナコ公国)にドブルミアが行われ、翌2013年シーズンを果たした。WRCを席巻すべく1年開発期間を費やし熟成を重ねたマシンも第2戦フィンランドで初優勝。その後勝利を重ねて年間13戦中10勝の好成績、デビューイヤーにして初のタイトル獲得も遂げた。その後も連覇を果たし、フォルクスワーゲンのワークス参戦最後となる2016年戦中9勝と、実に4年間で52戦中43勝を挙げた。ドライバーのセバスチャン・オジェと、名実ともに王者へと導いた。

制作したキットは、新旧の欧州製ラリー

カーをラインナップしているベルギーの模型メーカー、ベルキットの2016年仕様だ。以前に2013年仕様のポロ R WRCはリリースされていたが、昨年、実車の変更点を反映させた2015年仕様と2016年仕様が発売となったのである。2013年仕様からの主な変更点はフロントフェンダーおよびリアウィングの形状、フロアシフトからパドルシフトへの変換、新デザインとなったカラーリングに対応したデカールなどである。キット自体の合ははとも良い。一部金型の都合か、フェンダー内に収まる補機類の取り付け穴を開く必要があるものの、さほど難しい作業ではないだろう。輸入キットだからと言って身構える必要も無いので、数少ない現代のラリーカーに是非チャレンジしてみたい。いかがだろうか。



4連覇を達成したオジェのマシンをモデリング



近年のラリーカーの特徴である迫力のボディスタイルと大型のリアスポイラー、ロールケージで固められたインテリアなど、ポイントを押さえたソツのないキットとなっている。カーモデルで重要なポイントである車高やトレッドも、ターマック仕様ならではの低く構えた迫力の佇まいが楽に再現できる。このモデルでの最大の難関はデカール貼り、発色、艶、下地の隠蔽力は申し分なかったのだが、材

質が若干硬く糊も弱めのような。貼り終えて乾燥した後からも剥がれる箇所も見受けられたので、その辺りに留意して、塗装でカバーできる部分はなるべく塗装し、デカールの面積は極力減らすことをお勧めしたい。

● ボディの修正と塗装・デカールのコツ



01 ボディ色のメタリックブルーは塗装とデカールで再現。02 塗り分けるダークブルーについては今回、クレオスのGXメタルダークブルーを下地に、同GXディープリアブルーを上塗りしてデカールの色に近づけた。03 ブルーで塗り分けたのは、フロントバンパーやボンネット、フロントフェンダーとドア下まわりにAピラー-Bピラーとなる。04 デカールは大きいサイズから貼り付ける。特に両サイドは大

判となっているので慎重に貼っていく。05 赤い矢印はデカールの紺色メタリック、黄色い矢印は塗装で再現したもの。遜色ない色に近づけることができた。また、仕上げにはクレオスのスーパークリアーIIIを薄めに希釈し2コート吹き付け、中研ぎを挟んで更に薄めて2コート程行いコンパウンドで軽く磨いた。デカールのラッカー系塗料への耐性は十分あるようでシワなどの発生は見られなかった。



VOLKSWAGEN
POLO R WRC 2016